

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価 計画

学校名	みやき町立中原小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	各領域の重点目標に向かって全職員一丸となって1年間取り組んできた。保護者や地域の方の教育活動に対する理解と協力により、行事や学習活動が充実しており、児童が楽しく通える活気あふれる学校となってきている。学習、生活の面において児童に良い影響を与えていることが児童や保護者の意識調査からも確認することができた。昨年度から活用力向上事業の県の指定を受け、算数科の授業改善にむけて研究に取り組んでおり、自ら学ぶ態度や対話活動で友達と共に学ぶ意欲が高まってきた。しかし、各項目における取り組みで一定の成果は見られたものの、課題も明らかになっている。この課題を全職員や保護者、地域の方と共有しながら、次年度はさらに効果的な指導の在り方を探り、実践していきたい。特に、心の教育と合わせて、児童の学力向上に向けた取り組みをさらに推進していく。
------------------	--

2 学校教育目標	「心豊かに たくましく 賢い風の子」の育成 ～ けじめをつけて、大活躍!! 風の子中原小 ～
----------	---

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 豊かな人間性を育む。(感性豊かな子ども) ② 健康・体力づくりを推進する。(健康でたくましい子ども) ③ 確かな学力を育む。(自ら学び考える子ども)
------------	--

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目

評価項目	重点取組		具体的取組	
	取組内容	成果指標 (数値目標)		
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・同学年で共通したマイプランを立てることにより、統一した指導が行えるようにする。 ・年に3回校内研修を行い、進捗状況を確認するだけでなく、教師間や学年間でどのような取り組みをしているか共通理解を図り、参考にする機会とする。 	
	○主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善～「教える」「考える」「習熟させる」のメリハリのきいた授業～	○対話したくなる瞬間を引き出す授業づくりを行い、全員が研究授業に取り組む。		<ul style="list-style-type: none"> ・低・中・高・なかよしの4学年部会で、全体授業研究会を実施し、話し合いの多いと思う課題設定の工夫に視点を置き、授業づくりの研修を深める。 ・研究の内容や方法について共通理解を図り、講師の先生に指導を仰ぎながら、対話的な活動を活性化させるための手立てを探る。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○Q-Uを2回実施し、1回目よりも2回目の学級生活満足群が高くなるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自他を認め、尊重する態度を育てるために、クラスごとのあいさつ運動、行事毎に「光るところみつけ」を実施し、児童のがんばりや活躍を放送で紹介する。 ・各学級で道徳の時間を使い、人権課題に関する授業を行う。 	
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員80%以上		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、心のアンケートを実施する。また、日記でも情報を把握し、いじめの早期発見に努める。 ・迅速にいじめ防止対策委員会を立ち上げ、全職員でいじめを受けた児童の指導・援助の方策案を立て、サポート体制をつくる。
	◎自信をもち、自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の充実	○将来の夢や目標に向かって頑張ったり、勉強や生活の仕方を工夫したりしたと答える児童が80%以上		<ul style="list-style-type: none"> ・活動前、学習前に具体的な目標を設定し、準備や見直しを立てて、学習や学校行事に取り組ませる。振り返りを必ず行い、自己評価をさせる。自分の成長に気付かせたり、次の学習への意欲をもたせたりする声かけをする。
●健康・体づくり	◎「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童99%以上 ・朝食を毎日食べる児童97%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の時間を中心に、各教科等との関連を図りながら、食に関する指導を実施する。 ・長期休業前の生活リズムに関する指導や、食育強化月間での生活リズムチェックを充実させる。 ・便り等を活用し、保護者への啓発を行う。 	
	○体力向上の具体的実践	○県のスポーツチャレンジの参加学級、参加種目を増やす。		<ul style="list-style-type: none"> ・各学級3種目以上挑戦するように呼びかけ、9割の学級で達成できるようにする。 ・学校全体で6種目以上に挑戦するようにする。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	<ul style="list-style-type: none"> ・定時退勤日を設定し、退勤時刻までに優先順位を考えて効率的に業務を行う意識を高める。 	
	○組織的な学校運営と教職員の連携促進	○時間を意識して校務に取り組んだ教職員80%以上達成。		<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の連携を促進し、効率化可能な校務を時短で実施できるようにする。 ・メリハリをつけた働き方を奨励し、時短意識を高める。

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目

評価項目	重点取組		具体的取組
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○安全教育	○危機回避能力の育成と、安全指導の徹底	○防犯ブザー所持率90%以上達成 ○児童の交通事故0件達成	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月、防犯ブザーの所持、整備の啓発週間を設定し、児童、保護者の防犯意識を高める。 ○交通安全指導、登下校指導を通して、児童の交通安全への意識を高める。
○生徒指導	○凡事徹底	○「廊下で出会った人にあいさつをする」「くつ・スリッパを並べる」についてのめあてを達成した児童80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の奨励と児童の意識の向上を図るために、朝の登校の時間に、運営委員会や各学級の児童による「あいさつ運動」を行う。 ・靴箱やトイレに児童の意識が向く掲示をしたり、きれいに並んでいる箇所について称賛したりすることで、児童に対しての意識付けを図る。
○学力向上	○学習規律の徹底	○「学習のきまり」「休み時間の過ごし方」について「守れている」と肯定的な回答をした児童80%以上達成。	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習のきまり」について掲示をし、常時児童に呼びかけ徹底をはかる。 ・「休み時間の過ごし方」を全校で共通理解し、落ち着いた態度で学習に向かわせる。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育